

浜岡原子力発電所 3号機 タービン建屋 2階における水の漏えいについて

2019年7月22日

発生号機	3号機(施設定期検査中) タービン建屋2階復水器室内(放射線管理区域内)
発生日	2019年7月22日
状況	2019年7月22日、14時頃、協力会社社員が3号機タービン建屋2階復水器室内(放射線管理区域内)の排水枡付近で水たまりを発見しました(計4箇所)。その後、当社社員が現場確認し、水の量が計約32リットルであることを確認しました。 原因は、タービン建屋空調の換気系給気ユニット(注)で発生した結露水が排水配管を通じて当該排水枡で漏えいしたものと推定していますが、今後、詳細を調査し、適切に対応してまいります。また、漏えいした水の放射能を簡易測定した結果、検出限界値未満であることを確認しました。なお、水の漏えいは止まっています。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	運転情報「表 1-2 管理区域内において、放射性物質を含む機器等からの水の漏えいを発見したとき。(但し、1リットル程度に至らない微少な漏えいを除く。)」に該当します。

注 換気系給気ユニットとは、建屋内へ導いた空気の温度調整をするための冷却コイル等のことであり、冷却された空気により結露水が発生します。

以上